

市長賞

堺市立 市小学校 六年

永 峯 茉 紗

私の中で差別は犯罪

私は、差別をする人は、どういう気持ちでしているのかが気になります。

なぜならこの世では、たくさんの差別があります。はだの色で差別されたり、その差別をしている人が気に食わなかったらいじめをしたりとこの世はとても残酷だと思います。私は「なんで差別をするのかな。その差別されている人はなにかしたの？」と思います。

私の中で差別やいじめは犯罪です。その人がどう思っているかなんて一つも考えずに差別するのは犯罪と同じだと思っています。差別は人の体をきずつけていなくてもその人の心にはぼっかりと大きな穴が空いてしまいます。すると笑えなくなったりしてしまうこともあります。どうして、その人の幸せをこわすの？なんで人をきずつけるのかが私には全然分らないです。でも差別をされる人の気持ちは少し分かる気がします。なぜなら私も、差別をされたことがあるからです。

私は母が日本人、父がアメリカ人のハーフです。私が小学一年

生の時、七、八人で遊んでた時友達の家に行くことになった時ロビーに入ろうとしたら友達に「ここは日本やから外国人は入れないよ。」と言われてしまいました。正直、その日は泣きながら帰りましたが今では仲良しの子なので気にしてません。もう一つ、小学三年生の遠足のバスで同じアイドルグループが好きな女の子とそのグループの話をしている三ヶ月後くらいにそのグループのライブが大阪であって「一緒に行こうや！」と言ったら友達が「ごめん。うちのママハーフの子きらいで日本人の子がいいから無理やねん。」と言われて、そこから私は自分がとてもきらいになりました。なんで自分は日本生まれ日本育ちなのに、パパの血がこんなやろう。とずっと思っていました。この顔なんかきらい。鏡もみたくない。と思う時期もありましたしとてもなやみました。

その時に、一人の友達に「ハーフっていいなあ。うらやましいわ。」と言われて私は、「えっ？」と思いました。そんなふうに思ってくれる人がいるんや。ととてもうれしくなりました。私は、その一言で少しだけ自信がもてるようになりましたが、私よりも

もっと酷い差別をされている人なんて数えきれないくらいいます。なのに、その人たちの幸せをおいて時間は過ぎてゆくのです。私は時間に、「待ってあげて。」と言いたいです。

人の心はとてもうすぐ、こわれやすいのです。その心を簡単にこわす人はその人の気持ちを一つも分かっていません。思いやりがない人だと思えます。なのにこの世には、差別というものがたくさん存在しています。

社会を明るくするためには、まず、人の笑顔が必要だと思えます。その笑顔を増やすためには、差別、いじめ、誹謗中傷、すべてを少しずつでも減らさないとはいけません。

差別をしている人は理由がある人もいるかも知れないけれど、その個人の理由だけで、人をきずつけていい理由にはならないと思えます。

今でも差別はまだあるので、私は、少しでも差別が減ってほしいと思えました。私の中では差別は犯罪です。少しでも差別やいじめが減ってこの社会が明るくなることを願っています。

